



今日からできる 『社会貢献』

求められる
社会貢献のあり方

第1回

NTTデータ経営研究所
村橋 保春

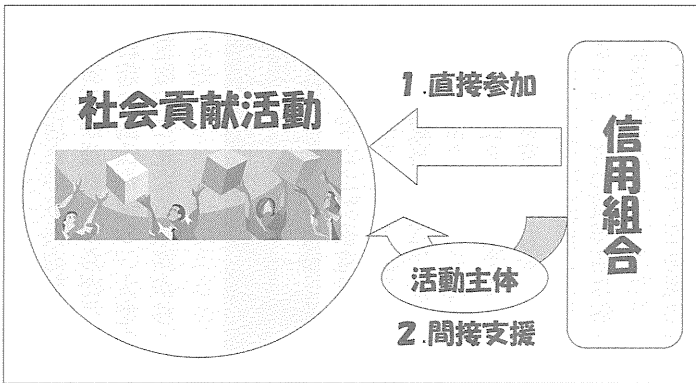
企業は企業活動そのものがしっかりと社会に役立っていることが求められる。しかしながら、企業がその企業目的を全うするだけでは社会的役割を十分に果たしたとはいえない時代となった。企業が社会の一員として、もう一歩踏み込んで社会と関わり、社会に役立つこと、つまり「社会貢献」が求められている。

企業の社会貢献として、バブル経済期のメセナを思い出される方もおられるだろう。企業のパフォーマンスを重視した支援は景気の低迷を受けて縮小したが、その後も続く企業支援は地道で裾野の広がった支援へと変化していった。いわゆる地に足の着いた社会貢献になった。

信用組合に求められる社会貢献とはどのようなものであろうか。組合員に対して経済活動の機会確保などの目的を果たすことだけでなく、信用組合が活躍する地域、業域、職域の関係者はいつその社会貢献を求めている。信用組合の社会貢献活動は社会貢献活動に対して信用組合が直接参加するか、社会貢献活動を行う活動主体に対して支援を行う、つまり社会

貢献活動に対して信用組合が間接支援するかに区分される。

信用組合が金融業務を通じて社会貢献活動を行う活動主体を支援することは数多く見られる。信用組合であるからこそできる非常に重要な社会貢献である。こうした間接支援は社会貢献活動が多岐多様であっても金融活動として集約され、支援基準と規模において多



少の変化があるだけである。

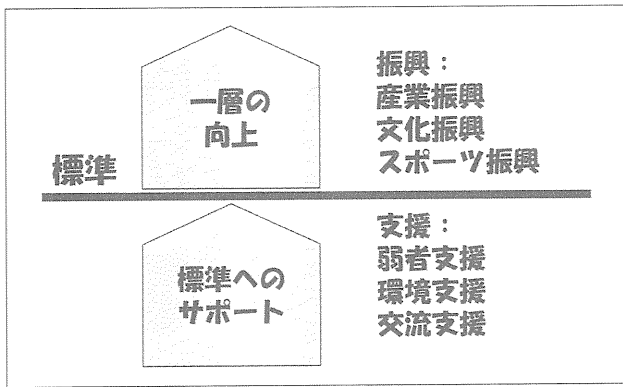
これに対して、信用組合が直接社会貢献活動に参加している場合は、活動内容そのものがとてもバラエティになる。社会貢献活動に関わる人たちにとって、信用組合が間接支援した場合には信用組合の「おかげ」として感謝するのに対して、直接参加した場合には信用組合を「仲間」として喜び合う関係になる。

本稿では信用組合が行う社会貢献を「仲間」として迎え入れられて活動する直接参加型の社会貢献に着目して、信用組合が参考にして実践できる事例の紹介や活動参加に関するアドバイス、ヒントを親しみやすく、わかりやすくご案内したいと考える。

標準へのサポートか、 いつその向上か

次に、社会貢献活動そのものについて検討してみたい。

社会貢献について「標準」を設定し、標準との関係で区分してみる。まず、標準にまだ達していない対象に対して標準に近づくようにサポートする社会貢献が想定される。弱者支援、環境支援、交流



支援などをあげることができ。高齢者、障害者、母子家庭など一般に弱者として位置づけられ、社会的標準に至るまでに支援するものが弱者支援である。温暖化等の自然環境、治安悪化等の社会環境など、改善が求められる環境に関わる問題に取り組み、標準への回復を支援するのが環境支援である。地域社会が変容しコミュニティが脆弱になりつつあるが、コミュニティの再生を支援するのが交流

(コミュニティ)支援である。

次に、標準に達しているもの、いつその向上へと展開する、「振興」の社会貢献である産業振興、文化振興、スポーツ振興などをあげることができる。産業振興は現状で一定の成果をあげている企業や業界に対して更なる成長を促進する活動である。産業振興にはビジョンと戦略が求められ、知識と意欲を高める成果が期待される。文化振興、スポーツ振興は地域の文化、歴史、風土として人々の関心を引き寄せる内容や、地域の人気のスポーツとして多くの人々が参加している内容を積極的に推進するものである。

信用組合に対して、標準へのサポートの「支援」といつその向上の「振興」の両面において社会貢献が求められている。設定する目標、課題、手法は「支援」と「振興」とで異なる。「支援」と「振興」の相違を把握して計画実行しなければならない。

姿勢 社会貢献に対する取り組み

社会貢献活動はほとんどの場合「人」に対して行われる。社会貢献

事業の中で「人」の目線に立つて状況を把握し検討し、実践しなければならぬ。つまり対象の「人」になりきる連想力が求められる。

一方で、外からの視点で新たな解決策を見出すことも大切である。連想力と構成員が求められる。連想力と構成員を欠いた社会貢献はあまり歓迎されない。

取り組み姿勢の例として「地域マップ」をあげる。街中のマップをつくる場合、だれにとつて便利なマップか、どんな情報を掲載すれば喜ばれるかについて、どれだけ考えたか、つまり連想力と構成員



男飯マップ (K I CのHPより)

力がはつきりと現れる。

柏市に情報提供施設としてかわいんフォメーションセンター(K I C)がある。ここでは幾種類もの地域マップを発行しており、いずれもユニークで評判がいい。

標準的な柏観光マップに加え、面白マップシリーズとして「裏カシ&柏☆裏のウラMAP」、「大人が楽しむ 柏のステキ☆ランチマップ」、「ガッツリ食べたい! 柏の男飯マップ」などその表題だけ見てもわくわくしてくるものばかりである。男飯マップは『安い! 早い! 量が多い! おかわり自由! おとんが作ってもおかんの味!』を条件に厳選した店を載せている。利用者とお店のマッチングも高まり、win-winの成果をあげている。

社会貢献 できることから始める

「今日からできる『社会貢献』」として少し取り組んでみようかと思える内容をお伝えしたい。社会貢献とは考えるのではなく、行動してはじめて機能する。そうした行動の呼び水になることを目指したい。